

会報 きらめき

煌

題字：
眞下晴巳 会員

第34号
 発行 平成29年1月
 公益社団法人
 向日市シルバー人材センター
 〒617-0006
 京都府向日市上植野町南開 66-1
 TEL：075-932-3987
 FAX：075-934-8600
 URL：http://www.sjc.ne.jp/muko
 e-mail：muko@sjc.ne.jp



平成28年11月23日 会員親睦研修旅行 小浜温泉・サンホテルやまねにて



上植野町 谷 英夫

監	監	理	理	理	理	理	専務理事	副理事長	理事長
事	事	事	事	事	事	事	小	植	廣
安	平	安	平	中	植	上	林	田	田
田		田	林	村	田	澤	林	田	田
正	託		勇	三		史	賢		光
夫	治	孝	夫	男	茂	郎	次	進	雄

本年もどうぞよろしく
 お願い申し上げます

謹賀新年

ごあいさつ



理事長
廣田 光雄

新年明けましておめでとうございます。

会員の皆様方には、平成29年の初春をご家族ともどもお健やかに迎えることとお慶び申し上げます。

当センターも皆様方の温かいご支援、ご協力により、公益法人としての事業運営が順調に行われておりますことに心から感謝申し上げます。

さて、我が国は世界に例を見ない速さで高齢化が進み、4人に一人は高齢者という超高齢社会を迎えておりますことから、国では、昨年6月に「ニッポン一億総活躍プラン」が閣議決定され、この実現のため「子育て支援の充実」「介護支援の充実」とともに「高齢者雇用の促進」が大きな柱となっているところであります。

しかしながら、現在、65歳以上の

高齢者のうち、働きたい人の割合は、70%近くあるのに対し、実際に働いている人は20%余りにすぎません。

この急速な高齢化と人口減少社会の中で社会の活力を維持し、持続的な成長を実現していくためには、働く意欲のある高齢者が、年齢にかかわらずその能力や経験を活かして生涯現役で活躍し続けられる社会環境が必要不可欠であります。

また、介護保険法の改正により、本年4月から高齢者の日常生活支援

を担う受け皿としてシルバー人材センターの活用が求められております。

こうしたことから、シルバー人材センター事業の果たす役割は、これまで以上に重要となっており、高齢者が就業しやすい就業条件・就業環境を提供するため、地域の要請に応じた柔軟で多様な事業運営を積極的に展開するとともに、高齢者のシルバー入会促進に一層努めてまいりたいと考えております。

結びにあたり、当センターの事業運営に対しまして皆様方の更なるご理解、ご協力を賜りますようお願い申し上げますとともに、皆様方にとりまして素晴らしい一年となりますように心からお祈り申し上げます。新年のごあいさつといたします。

新年のごあいさつ



向日市長
西日守

新年明けましておめでとうございます。

公益社団法人向日市シルバー人材センターの皆さまにおかれましては、輝かしい新春を健やかに迎えることと、心からお慶び申し上げます。

また、会員の皆さまにおかれましては、平素より地域の見守り活動や生活支援サービスをはじめ、各分野で地域社会の支え手として活躍いただいておりますことに、深く敬意を表します。

さて、昨年を振り返りますと、向日市では3月に「ふるさと向日市創生計画」を策定し、ご当地ナンバープレートや、シリーズ化した「むこう、むこう。」のポスター、さらには広報誌を刷新するなど、戦略的に情報発信すると

もに、コミュニティバスや中学校給食の導入に向けた検討もおこない、新たな一步を踏み出した年でありました。

そして本年は、「向日市ふるさと検定」の実施をはじめ、計画された事業をしっかりと実行に移し、向日市が大きく飛躍できる年にしてまいります。

皆さま方におかれましては、長年培われた知識やご経験を活かし、私たちの良き先輩としてこれからもご支援、ご協力賜りますようお願い申し上げます。

本年が希望に満ちた素晴らしい年となりますよう心からお祈り申し上げますとともに、シルバー人材センターのますますのご発展と、会員の皆さま方のご健康とご多幸を祈念いたしまして、新年のごあいさつとさせていただきます。



上植野町 谷 英夫

シルバー人材センター普及啓発活動

シルバー人材センター普及啓発促進月間の活動として、向日市まつり出展とボランティア清掃を行いました。

11月19日(土)・20日(日)の向日市まつりでは、シルバー人材センターのブースにおいて就業風景のパネル展示、仕事の受注や入会受付を行いました。



シルバーのブースでは、入会の説明会を実施しました



向日市まつり会場でパンフレットを配布しました

ボランティア清掃については、11月27日(日)を予定しておりましたが、雨で延期になり、12月3日(土)に行いました。

会員・役員21名が参加し、センター周辺、西向日公園及び西向日駅周辺のゴミ拾いや落ち葉掃きを実施し、美化に努めました。

ご参加いただきました会員のみなさま、ご協力ありがとうございました。



シルバーの事務所周辺の落ち葉掃除する会員の皆さん



阪急西向日駅周辺のゴミ拾いを実施しました



上植野町 谷 英夫

また、まつり会場内では役員によるパンフレットの配布を行い、シルバー人材センター事業を広く市民の皆様へPRするとともに、未加入者の入会促進に努めました。



上植野町 谷 英夫

安全・適正就業委員会

安全・適正就業委員会では、昨年の夏期に実施しました安全パトロールにおいて、指摘がありました。今後の安全就業の参考にしていただきますようお願いいたします。

【分別収集業務】（寺戸町東田中瀬・渋川地区）

- ・ 就業会員の言動や動作もよく、円滑に業務が行われている。
- ・ 時間外に出す人は減ってきている。

【交通指導業務】（第3向陽小学校区）

- ・ 前田地下道前については、交通量が非常に多く、一時停止しない車も多いため、旗をしっかりと伸ばして止める必要がある。
- ・ 歩道を走る自転車が多く、会員にも危険が及ぶため注意が必要である。

【除草業務】（寺戸町渋川、森本町上森本）

- ・ 道路を背にして草刈り機を使用するとき、歩行者の通行に注意が必要である。
- ・ 比較的高所の作業時には、ヘルメット、安全ベルトの着用が望ましい。

【駐輪指導】（JR向日町、阪急東向日付近）

- ・ 言葉使いに注意し、ソフトな声掛けを心掛けている。
- ・ 銀行前に駐輪する人が多く、駐輪場に止めるよう指導している。

【植木剪定業務】（物集女町北ノ口、物集女町森ノ上）

- ・ 低木剪定時もヘルメット、タオルで安全及び熱中症対策されている。
- ・ 電気バリカン使用時、電気コードを切らないよう工夫されている。

・ 剪定はさみは、壁に並べて立てかけられており、安全に管理されている。

【学校管理業務】（第3向陽小学校、寺戸中学校）

- ・ 雨漏りする箇所があり、転倒に注意が必要である。
- ・ 教員不在時の電話対応など適切に対応されている。



交通指導業務のパトロールを行う委員

事故報告

平成28年9月から12月に発生した事故は以下のとおりです。

● 屋内の清掃中、濡れた床の上で滑って転倒。左手首を骨折。

● 子育て支援業務中、子供とぶつかり転倒。左足打撲等。

就業時には周囲に十二分に注意を払うとともに、日頃の体調管理を行い安全就業に努めてください。

また、事故発生の際は、すぐにセンターへ報告していただきますようお願いいたします。

シルバー保険

シルバー人材センターでは、会員の皆様に安心して就業していただくため、就業中にけがなどを被った場合に補償を行う「傷害保険」と、就業中に他人の身体や財物に損害を与えた場合に補償を行う「賠償責任保険」に加入しています。

【傷害保険】

給付内容は「通院保険金」「入院保険金」「死亡・後遺傷害保険金」があります。

【賠償責任保険】

（他人への身体への賠償） 3,000万円
 1億円

（財物の賠償） 1事故1,000万円

※適用範囲がありますので、詳しくは事務局にお問い合わせください。

刈払機の安全作業講習会



講師から刈払機の部品の説明を受けました

11月16日(水)、京都府農業機械士協議会から農業機械士の山田一徳様と小林義博様をお招きし、刈払機の安全作業講習会を開催しました。
向日町北山の朝堂院西方官衙にて、会員9名が受講しました。

刈払機の安全作業講習会を受講して

鶏冠井町

上澤 史郎

11月16日、京都府農業機械士協議会より2名の講師の方を迎えて、朝堂院(須田邸跡)で、刈払機の安全作業講習会に参加しました。



今まで何度か機械刈をしてきましたが、その際には、第三者の通行や周囲の同僚、石の飛散に注意しながら作業を行っ

てきました。しかし、今回の講習を受け

て、それだけでなく、機械の構造、注意点、草の刈り方、傾斜面での作業の仕方、作業中の連絡の方法(笛の活用)、防護服(ゴーグル等)使用の大切さ、機械、刃物等の点検には必ずエンジンを止めて行うという様な注意すべき点が多くある事が分かりました。

以前、新聞記事で刈払機での死亡事故が、平成25年に5名、平成26年に8名発生(農林水産省調べ)していることを知り、その数の多さに驚きました。

これからは、刈取り場所だけでなく周囲にも気を配り、無理なく余裕を持って、安全作業に務めたいと思います。

最後に、もっとたくさんの会員の方の参加があれば良かったと少し残念に思いました。



講師が見守る中、実地研修を行う会員

刈払機の安全作業講習会を受講して

寺戸町

柳川 則之

11月16日(水)10:00
11:30、朝堂院西方官衙において刈払機の安全



作業と題して講習会が開かれ、講師に京都府農業機械士協議会より小林義博、農業機械士と山田一徳、農業機械士の2名、向日市シルバー人材センターからは事務局より3名、除草作業従事者9名参加で開かれ、最初に刈払機事故例を4題上げて話された。

①傾斜地、法面での不安定姿勢による事故
法面の作業中、滑って落下事故が起こる。
法面の作業時には滑り防止の為に小段を造り、スパイク靴の着用をする。

②回転刃の事故

草刈中、回転刃のチップが飛び目に刺さる事故が起こった。
キックバックや小石、チップ等の飛散による事故から身を守る為に、防護の徹底をする。

フェイスガード、ゴーグルを付ける。

又、刈払機の飛散防止カバーは絶対にはずさないようにする。

③作業前の環境確認を

長い草を草刈中、穴に落下、ケガをした。
作業前に、草むらに潜む穴、溜枿や木の切り株、大きな石、空き缶などをま

④エンジンを止めずに起こった事故

回転刃に絡まった草を取ろうと身を乗り出した時にスロットルに手が触れ、回

転刃が全開し指を切る事故があった。
刃に絡まった草を取る時や刈払機を置く時は必ずエンジンを停止する。

事故防止に充分に気をつけるように話があり、次に機械について、回転刃の交換手順、又、回転刃の止めネジのナットが隠れる程の皿ワッシャーを取り付けると良い、又、キャブレターのフィルター掃除、燃料タンク内のフィルター掃除方法、又、燃料は純正のオイルで混合するようにと話された。

次に実技指導に入り、私自身初めて刈払機を使用する為、エンジンをかけるところから持ち方、肩にかけるところまで二つ教えてもらい草刈を始めたが、最初の頃はなかなかうまく刈れなかったが人に教えてもらいながらやっていたが、時間が経つにつれて徐々に様になってきた。今回は平坦な所で石等の障害物の無い所だったから何の問題もなく出来たが、実際に現場に行ったら難しいだろうなと思いつつは終わったが「たかが草刈、されど草刈」。安易な考えでいたら大きな事故になる事も話の中で考えさせられた。刈払機を使う時も、それ以外の作業をする時は気を引き締めて安全作業に取り組みたい。

講習に参加いただいた皆様、お疲れさまでした。

今後も、安全就労のためいろいろな講習会を開催していきたいと考えています。

参加の希望や、こんな講習会を開催してほしいなど要望があれば事務局までお願いします。(事務局)

介護補助スタッフ講習会

9月13～16日まで、向日市民体育館において株式会社ニチイ学館より、講師として中島周子様と坂本淑子様を招いて介護補助スタッフ講習会が開催され、会員を含め15名が受講しました。

初日は、要介護者等への介護に対する姿勢および介助方法の学習、2日目以降の実技では、介服用ベッド、車いす、携帯用トイレ等を使用し実習を行いました。

介助スタッフ講習会を受けて

鶏冠井町 山崎博之

感想としては、いかに介助が難しいか痛感しました。



今回は、受講者同士で体験しましたが、本当の現場で出来るのかと思いましたが、高齢社会になりつつある現在で、今後、老老介護が当たり前になると思います。体験でもよいので現場にて実体験してみたいです。

また、介助を経験して、こんなにも大変なものだと思いませんでしたし、自分が逆の立場になれば非常にありがたいものであるとも思いました。特に、移動させていただくのでこんなにも大変だと思います。

また講習等あれば参加したいです。



熱心に介護補助技術を学ぶ参加者のみなさん



初日の講習では、介護に対する姿勢を学習しました

介護補助スタッフ講習を受講して

上植野町 柴山昭夫

社会人としての一線を退いていた私は健康に恵まれ元気に日々を



過してまいりましたが、ここ暫く年齢によるものか、自身の将来の事、特に介護について大変な感心を抱いておりました。ある日「広報むこう」を拝見していたところ、目にとまったのが、「介護補助スタッフ」の受講申込要項でした。9月13日から16日迄の4日間という長いオリエンテーションで有りましたが、期待と不安、そんな緊張感を持って講習会に参加したのでした。

講義をされる先生方は実際に介護を実践され経験豊かな講師陣による講義が有り、介護という本質を知り得た大変有意義な講習でした。

1日目はサービススタッフとしての心構え、介護サービスの基本視点から介護に関する知識と基本的態度、利用者への理解とコミュニケーションという基本理念の講義内容でした。

2日目は認知症の理解と基本的対応、住宅及び福祉用具に関する知識を私自身が感心抱いていた介護技術の講習内容でした。3日目と4日目も続いて介護技術実習が有り、車いす、杖、他福祉用具を持ちながら使いながらの実技それはまさに現実に行われている「介護」の状況を見ているような介護の厳しさを痛感していたのも事実でした。講習を通じて思った事、感じた事は多岐に渡りますが、介護の本質は基本理念である人間の尊厳を守り、自力を支援す

るために有るのだと理解し得たように思えます。そして人間の心の豊かさとのやさしさが要求されるものだと思います。

そして、主催されたシルバー人材センターが「自主、自立、共働、共助」の基本理念の元に活動されている事を知り賛同入会いたしました。知り得た知識、習得された技能は必ず生かされると思っています。

最後に受講の機会を与えて下さったシルバー人材センター関係者の皆様、講義支援頂いた先生方、関係者に心より感謝申し上げます。本当にありがとうございました。



ベッドからの起こし方など基本的な技術を学びました

介護保護法の改正により、平成29年4月から、高齢者への生活支援サービスについて、シルバーの役割が増すことが期待されています。(事務局)

歳末おかたづけ応援隊

昨年11月中旬から年末にかけて向日市社会福祉協議会と協力して「歳末おかたづけ応援隊」事業を行いました。

この事業は親族や近隣住民から生活支援を受けることが困難な70歳以上の高齢者世帯の生活の自立と安定を図るため、「おかたづけ等」をサポートする事業で、家具や衣類の整理、家内の掃除、簡単な部屋の模様替えなどを行いました。

今年も多くの方から「とてもきれいにしてください、新年を気持ちよく迎えられるます」「手の届かない換気扇など、日頃なかなか掃除できない所がかたづけいて助かりました」などの声をいただいております。



換気扇の掃除を行う応援隊

応援隊に参加して

向日町

浅野 和子



こんにちは○○さん、シルバーから来ました。奥から「上がつてください」と返事が返ってくる。まずは挨拶と掃除をする所の確認をしてお仕事を開始する。

私はこのお仕事をさせていただいて2年目になります。お掃除中にたいいのお客様は話しかけて来られます。手を動かし会話をしながら行きます。お家をきれいにしてお正月を迎えられるようにと心をこめて掃除していく、その間もお話しの相手で口は動きっぱなし。私はいつも笑顔で相手の立場になって声かけしながら行う事を心がけています。最後に「きれいにしてもらつてありがとう」の声を聞くのが嬉しい。そこで私自身も勇気をもったり色々勉強させていただきます。

今回も楽しくお仕事させていただきました。

鶏冠井町

山崎 博之



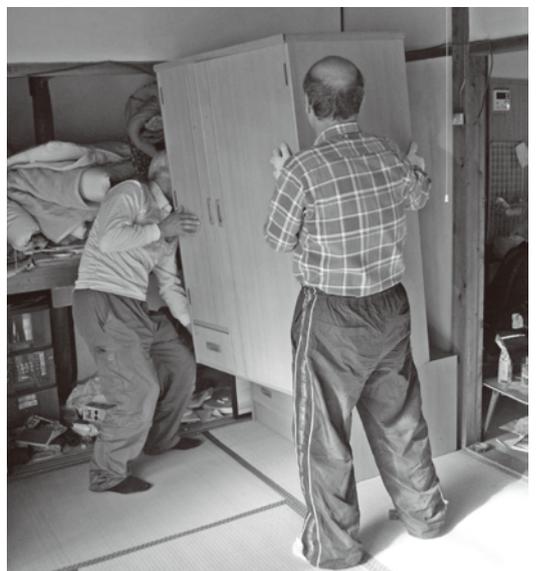
まず、この仕事をさせていただいて3回目になります。昨年お伺いした方からリピートもあり、私

自身楽しみにしております。

高齢者の方は高いところなど無理なので出来るだけ決められた仕事以外の場所をやるように時間の工夫と道具の工夫をしています。

年1回と決めず3か月単位で出来ないものかとも思います。

今年も最後になりましたができるだけ力を入れたと思います。



家具など重いものを移動させる応援隊



上植野町 谷 英夫

会員親睦研修旅行

センターと会員及び会員間のコミュニケーションを図り、相互の交流と親睦を深めるため、毎年この時期に会員親睦研修旅行を実施しています。

今年度は、11月23日(祝)、会員、役職員の計40名が参加し、福井県小浜市方面へ日帰りバス旅行を楽しみました。



小浜温泉で新鮮な魚介とカラオケを楽しみました

若狭小浜温泉旅行に参加して

寺戸町 平林 勇夫



新年明けましておめでとうございませう。昨年11月23日、向日市シルバーのみなさんと、楽しい小浜温泉日帰り旅行に、行って来ました。皆さんと共に、和気合々の大変に楽しい旅行でした。久しぶりに、びわこ湖畔を走りながら、バスガイドさんの美声による「びわこ周航の歌」を聞き、胸にジーンと来ました。又、「箸匠せいわの見学・研磨体験非常に、めずらしい体験をさせて頂きました。昼には、待望の「サンホテルやまね」に於いての美味しい食事、宴会カラオケ等、歓談を交えての友好のひと時、忘れる事ができません。皆さんお一人お一人、大変に明るくお元

気な姿に、私も又元気を頂きました。帰りの車中での「ビンゴゲーム」には、我れをすっかり忘れ夢中になりました。楽しいひと時でした。

それぞれ沢山の「おみやげ」をぶらさげて無事に帰着しました。この度の旅行によって、お一人お一人が、お元気になられ増々健康につながった事でしょう。この思いは、みなさんも同じではないでしょうか。

待ちに待った親睦旅行

鶏冠井町 中西 さよ



11月23日(晴)、今日は待ちに待った旅行の日、心配していた雨も降ることなく、寒い風はようしやなく吹きまくる競輪場。私は少し早い内に競輪場へ行き皆様方の来るのを待った。時間と共に皆明るい笑顔での出席。

その内に大きなバスが静かに坂を登り集合場所に来てくれました。待ちかねた様にバスに乗る。やがてバスは静かに動き出しすべる様に坂道を下り、いよいよ旅行の始まりです。

良い天気恵まれ、窓から見える景色は何とも言えない美しさ。静かな山あいは紅葉が美しく、過ぎ行く秋を見送り来る冬を迎えようとしています。心地良くバスは走ってくれます。

何時間経つたでしょう、目的地につきバスを降り、いよいよ人材センターの宴会場へ入りそれぞれ席につき、理事長様、局長様の御挨拶の後、いよいよ宴会の始まり。時間と共に宴会は盛り上がり楽しい楽しい一時。毎日の仕事の事も忘れて長い時間を楽しませていただき、やがて宴会は終わり帰る時間となり外へ出て記念写真を撮っていただき、バスに乗り途中でおみやげ物を買って、楽しかった一日は終わろうと

しています。

帰りのバスの中もとても楽しく時間の経つのも忘れてる内に、いつの間にか向日市に着き、今年の旅行もこれで終わりかと思えば淋しさで一杯でした。けれどまた来年もしつかり頑張つて働かせていただき旅行を楽しみに頑張り励みたいと思ひ、なんとなく淋しいです。

理事長様、局長様、そして事務局の皆様、ほんとうにありがとうございます。心より御礼申し上げます。明日からの仕事にはげみ、楽しい一日を送らせていただきます。

ほんとうにおつかれ様でした。心より御礼申し上げます。

旅行に参加された皆様、ありがとうございます。来年も楽しい旅行を企画します。今回参加できなかった方は、ぜひ来年は参加をお待ちしています。(事務局)



箸匠せいわでは、楽しい「お箸」のお話とお箸づくりを体験

会員のひろば

姫路城

六甲山夜景巡り ツアーに参加しました



寺戸町 梅村 秀樹

新装なった姫路城へすぐに行きたかったのですが、多分凄惨な人なので少し落ち着いてからと参加しました。それでもバスの台数は多く駐車場に入るのに待たされました。慶長年間に建てられ城の中でも世界的に高い評価の国宝です。

飛び立つ白鷺に例えられご存じの(白鷺城の異名)の名城です。

当日は快晴で空のブルーと城の白さのコントラストが見事でした。もちろん写真撮りまくりです。人が多いのでベストポジションの場所とりが大変でした。

それから城内に入ろうと歩いて行って(!!ピツクリ大行列です)待ち時間1時間と聞いて諦める事になる。

城外では菊花展や盆栽展が開催されていて素晴らしい作品がたくさんあり満足しました。城内に入れなかったことも忘れませんでした。

姫路城の西隣にあるのが「好古園」です。庭園郡で構成された池泉回遊式の日本庭園です。近くに「シロトピア公園」があります。建築家黒川紀章が設計した扇館亭や休憩所があります。一休みするには良い場所です。広場でいろいろイベントをしていました。タコ焼きやうどん等販売していたので小腹を癒しました。

次の行き先が1000万ドルの六甲山の夜景です。バスは六甲山を右に左に揺れながらと頂上に到着しました。揺れに弱い人は気分がわるいと嘆いていました。バスを降りたら寒い寒い、気温が一気に下がりが慌ててジャンパーを着込んで寒さしのぎです。少し歩いて頂上へ(！素晴らしい)晴天と気温が低いので空気が澄んでいて眼下の照明群が鮮やかです。北海道に行った時観た函館山の夜景にも負けない位の美しさです(来て良かった)。バスに戻る時間なのでもう少し見ていたい気持ちを残しながらバスに乗り込みました。

今日一日真っ白のお城を観てメンタイコ工場も見学して最後に素晴らしい夜景で締めくくりに楽しい一日でした。何よりも天気に恵まれたのが最高でした。

明日から仕事頑張ります。又未知の地を見つけて旅したいと思います。



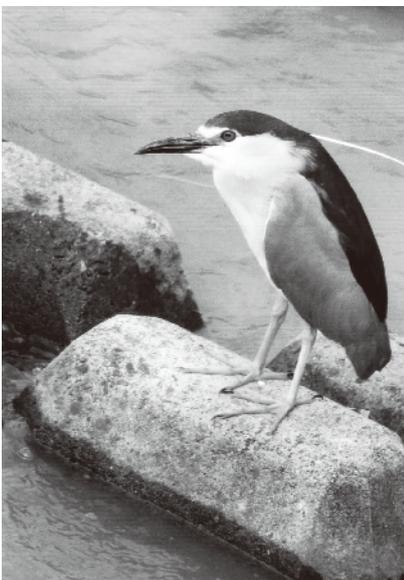
上植野町 谷 英夫

私の撮っておきの一枚



イチヨウの木に共生するモミジ(石山寺)
森本町 津田 晃

サギにもいろいろあり、これはゴイサギです(小畑川)
寺戸町 夏秋 典行



事務局だより

新しく仲間入りしたみなさん

(地域班別、平成28年8月～12月入会順)

物集女 佐藤 利広
寺戸 井尻 真一

森本 三宅 禮隆
鶏冠井 櫻井 光江
上植野 赤田 和子

島田 卓子
柴山 昭夫
四方 眞次郎

退会されたみなさん

(地域班別、平成28年8月～12月退会順)

物集女 平山 康直
寺戸 森本 美和子

森本 小山 幸進
上植野 太田 悦子
亀中 野田 義昭

履行確認書は速やかに提出箱へ

業務別に提出していただくように、引き出し付の箱を用意しております。確認書提出の際には、記入間違いや漏れのないようにしてください。就業後は速やかに提出いただきますよう、ご協力をお願いします。

電話の際は、「会員の〇〇〇〇〇〇です」とフルネームで

センターには発注者や会員のみさんから毎日たくさん電話がかかってきます。同姓の方もたくさんおられるので、「〇〇〇〇〇〇です」とだけ名乗ってもらっても、どこのどなたなのか判別できず、事務の取り違いに繋がることもあります。「会員の〇〇〇〇〇〇です」とフルネームで伝えてください。

今後の行事予定

◆「接遇研修」

平成29年2月予定

◆「交通安全講習会」

平成29年3月予定

受講対象会員には、追って案内文をお送りします。

平成29年度年会費について

平成29年度年会費は年度が変わる4月1日に発生します。退会をお考えの方は、3月中に事務局へお申し出の上、所定の退会手続きをしてください。4月以降の退会お申し出には1年分の会費支払いが必要となりますのでご了承ください。

なお、継続会員の方には、5月頃に年会費納入の案内を送付させていただきます。ご了承ください。

会員募集

地域で共に働く仲間を募集しています。会員の皆さまのご近所やお知り合いの方にぜひ声をかけていただき、誘ってみてください。

対象となる方

向日市在住の60歳以上で健康・働く意欲ある方
※入会申込みは、随時受け付けれています。詳しくはセンターまでお問い合わせください。

あしがき

あけましておめでとうございませぬ。

会員の皆様におかれましては、健康やかに新年をお迎えのことお喜び申し上げます。

昨年は、事務局のメンバーも変わり、あわただしい年でしたが、無事に新年を迎えられたのは会員の皆様のご協力のおかげと感謝申し上げます。

さて、今年は西年ですが、昨年から鳥インフルエンザが発生しており、「日も早い終息が待たれます。」

西年生まれの特徴は「洞察力があり、多くの才能に恵まれている。頭の回転が速く、几帳面で集中力や持続力があり凝り性な反面、こだわりが強いので理想やプライドが高く、妥協が苦手」といわれています。

ところで、今年の冬は厳冬となり凍える寒さになります。

冬の寒い中での寒暖差が激しいと、いつも以上に外に出るのが億劫になってしまいますね。

会員の皆様におかれては、風邪などひかないよう健康に気をつけ、今年も元気で安全に就業していただきますようお願いいたします。

私たち事務局一同、今年「年精一杯がんばってまいりますのでよろしくお願いたします。」

会員の皆様にとって幸多い年となりますよう、お祈り申し上げます。

事務局長	小林賢次
次長	柴崎重信
業務総括	中村幹雄
業務係長	大嶋英夫
業務係	片岡法康
庶務係	山田祐史
//	上田奈津子



上植野町谷 英夫